

だるい

No. **211**

2024. 2

議会だより



新年のご挨拶

令和5年第6回定例会(12月)

審議・議決内容

常任委員会

一般質問

議決結果

2

4

6

13

新年のご挨拶

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心から喜び申し上げます。

平素は、町議会に對しまして深いご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

まずは、本年元旦の夕刻に発生致しました「令和6年 能登半島地震」により、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、多くの犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。一日も早い被災地の復旧・復興を、心から念願いたしております。

さて、昨年は、3年余り続いたコロナ禍に、大きな節目を迎えた一年となり、途絶えていたイベントやお祭りが再開されるなど、人と人の関わりや地域社会との繋がり大切さを改めて考えさせられた年でありました。

本年は、ワイワイプラザ垂井の落成式や垂井町合併70周年の記念式典が予定されているなど、本町にとっても重要な一年を迎えます。

町議会と致しましても、町民の皆様がより安全で安心に暮らせるまちづくりを実現するため、行政と積極的に議論を深め、議事機関としての責務を全うしてまいります。存でございます。

皆様にとって、より身近な議会となりますよう、議会の活性化にも努めてまいりますので、なお一層のお力添えをよろしく願います。

結びに、皆様のますますのご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

垂井町議会議長

若山 隆史



第6回定例会

12月定例会は、12月6日から15日までの会期10日間で開かれ、条例改正、補正予算、指定管理者の指定など、町長提出議案12件、議会議案2件を審議・議決しました。

令和5年度垂井町一般会計補正予算

住民税非課税世帯生活支援給付金給付事業 ビジネス拠点施設整備等事業

本定例会では、令和5年度一般会計補正予算が、会期中に2件上程・審議されました。歳出予算の主な内容は、以下のとおりです。



●住民税非課税世帯生活支援給付金給付事業 1億4,466万7千円を増額

国からの交付金を受け、住民税非課税世帯に対して1世帯7万円を給付するための費用を追加しました。



●学校給食賄材料費 1,100万円を増額

物価高騰により学校給食にかかる食材の費用が不足するため、関係する予算を増額しました。



●ビジネス拠点施設整備等事業 1億1,300万円を増額

町の活性化を目指して、旧東保育園をビジネス拠点施設に改修する事業に要する経費が、物価高騰等により不足するため、予算を増額しました。



議会改革特別委員会の設置の件 議会の改革・改善を推進

議会の改革や活性化等について協議・検討するために「議会改革特別委員会」を新たに設置しました。

この特別委員会では、垂井町議会の充実強化や運営面等について、その意義や役割を踏まえ、あるべき姿を示すことができるよう議論を重ねていきます。

- 委員長 富田栄次
- 副委員長 広瀬隆博
- 委員 中村ひとみ、藤墳理、乾豊、
山田成利、鈴木準二、小宅宏、
渡辺保彦、水野忠宗、中川泰一、
江上裕子



指定管理者の指定について ワイワイプラザ垂井の 指定管理

4月に供用開始するワイワイプラザ垂井の指定管理者の指定について審議し、賛成多数で可決しました。

当施設は、住民機能、貸室機能、行政機能を有し、多世代の町民のみなさんが気軽に利用できる施設です。また、日常的な利用のみならず、イベントや避難所など多種多様な活用ができ、新たな賑わい創出の場としてオープンします。

- 指定管理者 特定非営利活動法人Let'sたるい
- 指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日

12月定例会の審議議案と議員の賛否については、13ページをご覧ください。

常任委員会行政視察について報告

12月14日に開催した全員協議会において、両委員会から昨年10月に行った行政視察について報告が行われました。

- 文教厚生委員会 10月17日～19日
奈義町（岡山県）
「子育て支援施策について」
府中市（広島県）
「備後国府跡 史跡公園の整備について」
松山市（愛媛県）
「学校の余裕教室を活用した地域福祉の拠点の取組について」
- 総務産業建設委員会 10月25日～27日
臼杵市（大分県）
「軽救急車の導入について」
豊後高田市（大分県）
「移住、定住の促進について」
別府市（大分県）
「BEP P U×デジタルファースト推進計画について」



▲府中市教育センターにて



▲豊後高田市役所にて

総務産業建設委員会

委員長 中村 ひとみ



総務産業建設委員会では、総務課、企画調整課、税務課、建設課、都市計画課、産業課、上下水道課、選挙管理委員会、監査委員及び農業委員会の担当事業に関する内容について調査研究を行っています。

有機フッ素化合物の水質検査

- Q. 県内でも問題になっているが、町内水道施設において有機フッ素化合物は目標値内か。
- A. 各水源地で有機フッ素化合物の一種であるPFOS及びPFOAの水質検査を実施したところ、全ての地点において国が定める暫定目標値内であった。

関ヶ原バイパス4車線化事業

- Q. 関ヶ原バイパスの4車線化事業はいつ完了し、供用開始されるのか。
- A. 一部用地の買収が完了していないところがあると聞いている。可能な箇所から順次工事を行っているが、現時点で完成は未定である。

県道養老垂井線の渋滞対策

- Q. 庁舎周辺において日常的に渋滞が発生する中、商業施設の進出に先行して、右折車線整備などを行う必要があるのでは。
- A. 県へ行政要望を出しており、大垣土木事務所にも現場を確認してもらっている。今後も引き続き、協議していく。

確定申告の受付状況

- Q. 役場窓口における確定申告受付件数の推移は。
- A. 令和4年が3,595件、令和3年が3,528件である。コロナ禍やマイナンバーカードの普及により、e-Taxを利用して自身で確定申告を行う方が増えてきている。

地域計画の策定

- Q. 農業の担い手不足や機械の維持管理等について、広域で考える必要があるのではないか。
- A. 広域化については、各地区の代表者が集まる「新農業経営対策会議」で協議していく必要があると考えている。

合併70周年記念事業

- Q. 令和6年は垂井町合併70周年であるが、ワイワイプラザ垂井周辺で記念イベントを実施しては。
- A. 具体的な式典の内容は検討中であるが、様々な事業と連携して、年間を通じてPRしていきたい。

その他の協議・報告事項

○ワイワイプラザ垂井の工事進捗状況	○第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）
○垂井町DX推進計画（案）	○令和5年度町税の収納状況等
○旧東保育園ビジネス拠点改修事業	○下水道事業全体計画及び事業計画期間の延伸
○国・県・町土木工事の進捗状況	○府中土地区画整理事業 など

文教厚生委員会

委員長 藤埴 理

文教厚生委員会では、健康福祉課、子育て推進課、住民課及び教育委員会の担当事業に関する内容について調査研究を行っています。



教職員の配置状況

- Q. 教職員は足りているか。県とも協議し、十分な配置に努めていただきたい。
- A. 現時点では、町内の教職員の欠員はない。人員確保については厳しい面もあるが、引き続き、適切な人員を確保できるように努めていく。

今後のワイワイプラザ垂井の運営

- Q. 利用しやすい施設にするため、住民の意見を取り入れる必要があると考えるが、住民を交えた協議会組織を設立しては。
- A. 供用開始後に組織を立ち上げ、充実した施設運営ができるように取り組んでいく。

中学校の部活動の地域移行

- Q. 部活動が地域移行されることにより、運動する機会がなくなるのでは。
- A. 学校部活動は平日においては引き続き行うことになる。運動機会を補償するため、中学校の体育の時間や平日放課後の学校部活動の中で運動の機会をしっかりと確保していく。

本籍地以外での戸籍謄本の発行

- Q. 法改正により本籍地以外の市区町村でも戸籍謄本を取得することができるようになるが、除籍謄本も取得できるのか。
- A. 戸籍謄本と除籍謄本ともに取得することができるようになる。

こどもまんなか応援サポーター宣言

- Q. 「こどもまんなか応援サポーター」宣言は具体的にどのように行うのか。
- A. 子育て世代が集うイベントで首長が宣言するという事例が多い。当町においても、今後、子育て支援センター事業にあわせて宣言したいと考えている。

介護保険第1号被保険者保険料

- Q. 現在の介護保険第1号被保険者保険料の所得階層は町独自の基準であるが、見直しにより国の基準にあわせるのか。
- A. 介護保険事業計画の策定を進めており、その中で保険料について検討している。国の動向を注視しながら対応したい。

その他の協議・報告事項

○令和6年度学級編成（見込み）	○科学の甲子園ジュニア全国大会出場
○垂井町重要文化財の指定	○クリーンセンター広域化
○特定健診受診勧奨事業に係る個人情報持ち出し	○令和6年度こども園入所受付状況
○岐阜県高等学校就学準備等支援金支給状況	○民生委員の委嘱 など



町の考えを問う

一般質問とは、議員が町長ほか執行部に対して、町政全般にわたり質問・要望を述べることをいい、各定例会において行われます。

12月定例会では、12人の議員が登壇し町政課題への提言や質問を行いました。紙面の都合上、質問と答弁は要約した内容を掲載しています。

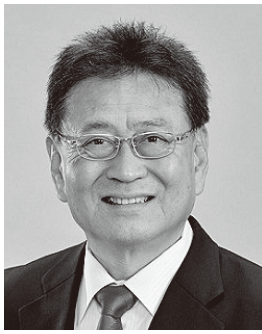
一般質問の様子をより多くのの人に見ていただけるよう、動画配信サイト「YouTube」で配信しています。議員名の下のQRコードを読み取ると、動画を見ることができます。



▲運用方針はこちらから



議員名	内 容
藤 埴 理	○ 町職員の労働環境について
渡 辺 保彦	① 防犯カメラについて ② リフォーム補助金について
山 田 成利	① 垂井町指定天然記念物 美濃路松並木の松の木の保守管理 ② 美濃路松並木歩道の清掃活動
乾 豊	① 県外等への転居した方に定期的に情報を送るサービスについて ② 職員にまちづくり研修と参加について
中村ひとみ	○ 「COCOLOプラン～誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策～」を受けての不登校支援の推進について
鈴木 準二	① 「留守家庭児童教室」を「放課後児童クラブ」と改称及び運営について ② 町職員の給与および定員管理と会計年度任用職員について
富 田 栄次	① 小中学校体育館にエアコン設置を ② 暗い夜道に街路灯を
江 上 裕子	① 病児・病後児保育について問う ② 産業振興の施策について問う
広 瀬 隆博	① 住民提案型事業・垂井町提案型協働事業について ② 垂井曳軸まつりについて
水 野 忠宗	○ 垂井町合併70周年記念事業について
小 宅 宏	① 垂井町も「子育て応援宣言」を！ ② 健康保険証の存続を
中 川 泰一	① 不帰での土地利用および農業振興について ② 調整区域での地区計画にかかる今後について



藤 壇 議員

YouTubeは
こちらから



問 過去に若手職員が退職に至った事例の経緯・原因をどのように考え、分析されたか。

副町長 退職理由は様々であり具体的には難しいが、町としては早い段階で適切に職員の意向を把握する必要があるため、異動の希望、退職や休業

などの意向、再任用の希望、職場環境についての調査を実施している。また、ストレスチェックを実施し、メンタルヘルス・不調に係る早期発見の対応、産業医との面談などにも努めている。

問 現在の職員人事に影響はないか。中長期的にはどうか。

副町長 職員意向調査の結果を踏まえ、採用試験において翌年度に必要な職員の確保に努めているが、想定外の依願退職や年度途中での退職の申出がある場合は、町独自の採用試験の実施や、会計年度任用職員を募集している。また、若手職員の退職は、リーダー的存在をはじめとした人材育成、また職員の年齢構成、人事異動、人員配置、役職への登用など、将来にわたって様々な影響が生じ

問 町職員の労働環境について

答 働きやすい環境づくりに努める

るものと考えている。

問 現在の職場の労働環境は。

副町長 職員同士で交流や簡単な打合せなどができるワークスペースや、体調が思わしくないときに利用できる休憩スペースを設けている。また、職員意向調査、ストレスチェック及び必要に応じて産業医との面談なども行っており、日常心配な職員がいる場合は声をかけ、また本人が希望する場合は、臨床心理士との面談の機会を設けている。



▲役場庁舎内「ワークスペース」

問 防犯カメラについて



渡辺 保彦 議員

YouTubeは
こちらから



答 有効だがプライバシー保護等に留意が必要

問 行方不明者や交通事故の発生時に活用はあったか。

企画調整課長 行方不明者発生時や交通事故の立証時に活用した事例がある。

問 今後、交通安全や防犯・治安等の対策として設置する考えはあるか。

企画調整課長 犯罪の抑止効果と事件・事故等の早期解決のために有効であると認識しているが、多くの財源やプライバシー保護等に留意する必要がある。今後も関係機関と連携し、町全体の防犯対策に取り組んでいく。

問 リフォーム補助金について

答 必要に応じて制度内容を検証し見直す

問 昨年度のリフォーム補助金の交付対象者の内訳は。

産業課長 昨年度の実績は66件であり、全て定住者である。

問 今年度の移住定住促進住宅支援補助金の実績は。

企画調整課長 現時点の交付実績は46件、1,004万円であり、移住者に対する住宅の補助が36件、768万円、定住者に対する補助が10件、236万円である。

問 昨年度をもって定住者へのリフォーム補助を終了したが、復活する考えはあるか。

企画調整課長 定住者へのリフォーム補助の拡充は、現時点では検討していないが、今後制度の内容を検証し、見直しを行う。



▲移住定住パンフレット



山田 成利議員

YouTubeは
こちらから



問 垂井町指定天然記念物
美濃路松並木の木の保守管理

答 計画的な保守管理に努める

問 指定天然記念物認定
当時の松の木は何本残っ
ているか。

生涯学習課長 昭和45年
に美濃路沿線の松47本が
天然記念物に指定され、
現在は20本残っている。
問 松が枯れた場合、補
植をどのように行ってい
るか。

生涯学習課長 指定天然
記念物の種子から生育さ
せたものではないが、松
枯れに強い種類の松を補
植している。
問 松の根元の水分の吸
収量及び根元の浮き上が
り防止策として、コンク
リート開口面積を拡大し
ては。



▲美濃路松並木

生涯学習課長 歩道とし
て利用されているため、
開口面積を大きくすると
交通に支障を来す。樹木
医の指導の下、アスファ
ルト舗装された松並木部
分に穴を開け、空気や水
が直接地面にしみ渡るよ
う改良を行った。

問 松の木の傾きの基準
を決め、基準から外れた
松の木の対応策を決めて
おいては。
生涯学習課長 基準は設
けていないが、道路法で
定める建築限界に基づき
管理を行っている。反射
シートを巻き、運転者へ
の安全対策を講じた上で
松の保護を行っている。
問 地元団体による保存
活動にも限界があるため
今後の水路・道路の管理
をどのように考えている
か。

建設課長 来年度、水路
内外の樹木伐採及び土砂
浚渫を実施したいと考え
ており、道路の維持管理
については、今後もパト
ロールを行うなど適切な
管理に努めていく。

問 県外等へ転居した方に定期的に
情報を送るサービスについて

答 SNSのさらなる利活用に
取り組む



乾 豊議員

YouTubeは
こちらから



問 転出された方や垂井
町への移住を検討されて
いる方に対して、町の情
報を発信する考えはある
か。
企画調整課長 SNSを
活用した情報発信は、大
変有効であると考えてお
り、現在、本町ではユー

問 若手職員を視察研修
に派遣しては。
総務課長 視察研修によ
り先進地の事例を把握す
ることで、職員の資質向
上、相手方の市町村との
交流、参加した職員間の
コミュニケーションなど
様々な効果が期待できる
ものと考えている。今年
度、県外視察研修を再開

したところであり、来年
度以降も継続をしていき
たいと考えている。
問 職員からまちづくり
のためのアイデアを募集
されては。
企画調整課長 これまで
重要施策やまちづくりの
事業を検討する過程で、
様々な形で職員のアイデ
アや意見の集約を図って
きた。職員にとっても、
提案した意見が採用され
ることは仕事への意欲や、
やりがいにつながるもの
と考えるため、今後も
様々な場面で職員が発案
しやすい場の創出に取り
組んでいく。

チューブとLINEを活
用している。今後は、他
の自治体の事例を参考に
するとともに、若手職員
の意見を取り入れるなど、
町の魅力発信ツールとし
てSNSのさらなる利活
用に取り組んでいきたい。



▲町公式LINE

問 職員にまちづくり研修と参加に
ついて

答 職員が発案しやすい場の創出に
取り組む



中村ひとみ議員

YouTubeは
こちらから



問 「COCOLOプラン～誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策～」を受けての不登校支援の推進について

答 様々な取組により不登校児童・生徒を支援する

問 不登校児童・生徒の保護者を支援するための今後の取組は。

教育長 各学校ではスクールカウンセラー、スクール相談員、職員が保護者の求めに応じて相談に応じている。加えて、町ではスクールアドバイザーを設置しており、子ども園、小・中学校の保護者の相談を積極的に受けている。今後も引き続き、保護者に寄り添いながら、相談を受ける体制を整えていく。

問 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）の設置状況と今後の取組は。

教育長 学校に来ることができても教室には入れない児童・生徒がいる場合には、どの学校も児童・生徒と相談の上、安心して学習できる場所を設けている。今後も学校

での居場所づくりに取り組んでいく。

問 オンライン指導できる指導体制の現状と今後の取組は。

教育長 教室と自宅や相談室等をオンラインで接続し、授業の配信を行うことが出来る。また、「フリースペースたるい」には、オンライン学習ができる体制を整えている。今後も継続して取り組んでいく。

問 自宅やスペシャルサポートルーム、教育支援センターでの学びを学校での成績に反映させることとの現状と今後の取組は。

教育長 家庭学習も含めて不登校の生徒の学びができる限り積極的に評価し、成績等に反映している。今後もCOCOLOプランを踏まえながら、不登校児童・生徒への支援に努めていく。



▲フリースペースたるい



鈴木 準二議員

YouTubeは
こちらから



問 留守家庭児童教室を放課後児童クラブと改称及び運営について

答 教室運営の在り方と併せて検討していく

問 放課後児童クラブへ改称すべきと考えるが、子育て推進課長 名称の

改正には、関係例規の改正、システムの変更などが必要であり、今後、教室運営の在り方と併せて検討していく。

問 留守家庭児童教室の運営委員会は教室ごとに設置されているのか。開催頻度は。

子育て推進課長 町全体で1つの委員会を設置している。ここ数年は年1回の開催で、現在の運営状況、取組などを報告し、検討課題などについて委員の方から意見をもらっている。

問 町職員の給与及び定員管理と会計年度任用職員について

答 職員の処遇や人員配置について適切な対応に心がけている

問 条例に定める定員と実職員数の乖離及び会計年度任用職員に頼った行政運営は適正か。

副町長 定員の算出について特に法令の定めはない。定年延長などを見据えて見直している。会計年度任用職員についても必要に応じた適正配置に努めている。

問 人事考課やジョブローテーションについて個別にフィードバックされているか。

副町長 人事評価を個別にフィードバックしていないが、今後は職員の意識向上、相談しやすい職場づくりなどとしていきたい。また、できる限り職員の意向を重視した形で定期的な異動ができるよう引き続き努めていく。

問 職員の適切な処遇と人員配置により住民サービスの向上につながる考えは。

町長 職員の処遇は、人事評価等により適切に対応しており、人員配置については、より自分の能力を発揮できるように配置に心がけている。職員への日頃の声かけやコミュニケーションを大切にする事で、より良い住民サービスの直結すると考えている。



富田 栄次議員



YouTubeは
こちらから

問 小中学校体育館にエアコン設置を

答 施設整備計画の課題の一つとして捉える

問 小・中学校体育館にエアコン設置を急ぐべきではないか。

教育次長 公共施設個別施設計画等を踏まえ、事業の優先順位を検討しながら、学校施設に係る全体の整備計画の中の課題の一つとして捉えていく。



問 暗い夜道に街路灯を

答 現地確認を踏まえ予算の範囲内で対応する

問 表佐地区内の街路灯設置状況と危険箇所の把握状況は。

企画調整課長 当該路線付近は明かりが少なく、夜間通行が危険と感じられるため、街路灯の設置場所等について調整していきたい。

問 町道表佐92号線に街路灯設置を。

企画調整課長 基準は設けていないが、自治会や地域のみなさんからの要望に基づき、現地の状況を確認し、予算の範囲内で設置を進めている。

問 公衆街路灯の設置基準は。

企画調整課長 基準は設けていないが、自治会や地域のみなさんからの要望に基づき、現地の状況を確認し、予算の範囲内で設置を進めている。



▲町道表佐92号線

問 病児・病後児保育について問う

答 引き続き施設確保に努める

問 垂井町においても病児・病後児保育の設置に努めることが必要ではないか。

子育て推進課長 病児・病後児保育施設の運営には保育室やスタッフの確保が難しいなど課題があり、現在、町内に施設を

設置できていないが、他町と協定を結び、当該事業を実施している。引き

続き、施設確保に努めていく。

問 産業振興の施策について問う

答 創業・経営支援や商工業を活性化させ、産業振興を図る

問 財源の確保による福祉の充実という好循環を実現するため、長期的な展望に立った産業振興をしていくことが重要ではないか。

産業課長 近年、町では創業支援事業、企業支援セミナーやSDGsマルシェの開催、企業連絡会の設立、旧東保育園を活用したビジネス拠点づくりなどの施策を展開している。今後も町活性化のため、未来への先行投資とともに将来の財源確保という観点から、産業振

興を図っていく。

都市計画課長 商工業を活性化させることが町の発展につながるものと認識している。商業振興については、庁舎周辺での都市機能集積拠点づくりの取組として、現在、市街化区域の拡大による商業機能の誘導を進めている。工業振興については、成長性の高い企業の誘致、既存企業の支援が大変重要であるため、工場用地開発に向けた取組を進めていく。

問 さらに満足感をもつていただくための取組が必要では。

町長 東海環状の開通が間近に迫っている中で、引き続き、各企業に対しましてきめ細やかに対応していきたい。



江上 裕子議員



YouTubeは
こちらから



広瀬 隆博議員

YouTubeはこちらから



問 事業実施団体をまとめる機関や、各団体が連携して事業を行う考えはあるか。

答 企画調整課長 それぞれの団体をまとめる機関はないが、団体同士が連携して活動の輪を広げていく可能性はあると考えている。

産業課長 地元での話し合いを注視しながら、祭り関係者や観光協会など生涯学習課長 文化財保護事業として補助金を交付しており、これまで曳軸の保存修理をはじめ、子供歌舞伎や祭囃子に必要な諸道具の修理に対し支援を行った。

問 住民提案型事業・垂井町提案型協働事業について

答 今後も地域活性化のため継続して取り組む

問 垂井曳軸まつりについて

産業課長 提案団体をまとめる機関はない。団体同士が事業のノウハウなどお互いの事業を補完している姿を拝見することがあり、よい形での連携をされていると認識している。

課題の解決、地域の特性を活かしたまちづくりに関する事業を団体のみなさんと協働で取り組んでいく重要な事業であるため、継続して実施していきたい。

問 関係団体と連携し祭りの維持・発展に努める

答 関係団体と連携し祭りの維持・発展に努める

問 持続可能な垂井曳軸まつりにするための取組は。

産業課長 地元での話し合いを注視しながら、祭り関係者や観光協会など生涯学習課長 文化財保護事業として補助金を交付しており、これまで曳軸の保存修理をはじめ、子供歌舞伎や祭囃子に必要な諸道具の修理に対し支援を行った。

問 垂井町合併70周年記念事業について



水野 忠宗議員

YouTubeはこちらから



答 様々な事業等と連携させ周知に務める

問 フェアトレードタウン宣言についての考えは。

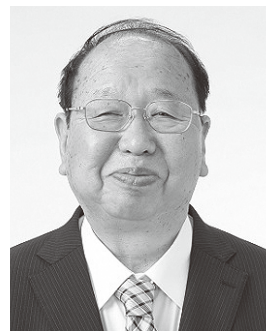
町長 フェアトレードの取組が少しずつであるが、まち全体に浸透し始めていると感じている。タウンの宣言は、町が支援するための方法の一つとして認識している。

いくことは大変重要な試みであると考えている。フェアトレード活動を一層深化させていただき、その理念を広めていただくことを期待している。

副町長 実行委員会などの設置は考えていないが、町内事業者との連携や、他の町事業とのコラボ企画なども検討しながら、来年、本町が合併70周年を迎える記念すべき年であることを、様々な機会を通じて、みなさんにお知らせしていきたいと考えている。



▲町合併60周年記念式典の様子



小宅 宏議員



YouTubeは
こちらから

問 垂井町も子育て応援宣言を！
おむつのサブスクの導入について

答 利用者と保育士双方の面から
検討したい

問 ことも園において、
おむつのサブスクを導入
されては。

答 子育て推進課長 町内公立園の0歳から2歳児の保護者に対し、利用料金を月額2,000円でおむつのサブスクを利用したいかのアンケート調査を実施した。利用したいが38.5%、利用したくないは39.3%であった。アンケート結果や意見などを踏まえ、利用者と保育士、双方がメリットとなるような方法を検討していきたい。

問 現行の健康保険証の存続を
マイナ保険証により無保険者が出るのでは

答 安心して利用できる環境整備に努める



問 マイナンバーカードの
トラブルをどのように
考えているか。

答 住民課長 当町でのトラブルは発生していないが、他人事ではなく真摯に受け止め、ヒューマンエラーなど誤りを未然に防止するための仕組みづくりが重要であると認識している。

問 大量の無保険者が出る
可能性があるが、町独自で発行・交付義務を継続
されては。

答 住民課長 国民健康保険の加入者でマイナ保険証を保有しない全ての方に、申請の有無に関わらず、資格確認書の交付を考えている。今後、安心してマイナ保険証が利用できる環境整備を進め、国や県の動向を注視しながら対応していく。

問 不帰での土地利用および農業振興について

答 関係団体と連携し適正管理に努める



中川 泰一議員

YouTubeは
こちらから



問 農業委員会や農協、県や
農業者会議とも連携を図り、
農地の適正管理促進に努めていく。
問 住宅や企業誘致の推進は
できないか。

答 調整区域での地区計画にか
かる
今後について

問 地域内の合意形成を図りながら
進める

答 今後の地区計画のスケ
ジュールは。

問 今後の不帰地区の土地
地に対する町の考えは。
答 産業課長 不帰地区が荒廃していかないよう、土地所有者の動向にも注視しつつ、地域計画に位置づけるなど活用について検討していく。当面は、

都市計画課長 地区計画の策定までには3年程度の時間を要する。1年目は、どのような地域にしたいのか、地域の思いを語っていただき、区域やルールなどを反映した骨子を作成していただく。2年目は、その骨子を基に地元説明会を開催するなど、地域において意思

決定をしていただく。並行して、地区計画の原案を策定し、指定する区域内の地権者のみなさんとの合意形成を図った後、地域から町へ原案を提出し、その原案に基づき県との下協議に入る。3年目からは、県との本協議や町都市計画審議会などの手続きを行いながら、都市計画決定をしていきたい。



▲岩手地域の地区計画を考える会の様子

12月定例会 審議議案と議員の賛否

上程議案・概要	結 果	江 上 裕 子	中 川 泰 一	水 野 忠 宗	渡 辺 保 彦	小 宅 宏	鈴 木 準 二	山 田 成 利	広 瀬 隆 博	乾 豊	若 山 隆 史	藤 墳 理	中 村 ひ と み	富 田 栄 次
賛成：○ 反対：× ※「-」は議長のため採決には加わらない														
条例														
垂井町監査委員条例の一部改正について 地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴い、所要の改正を行うもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について 人事院勧告に伴う国の対応に準じ、期末手当の引上げを行うため、所要の改正を行うもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について 人事院勧告に伴う国の対応に準じ、期末手当の引上げを行うため、所要の改正を行うもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町職員の給与に関する条例及び垂井町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について 人事院勧告に伴う国の対応に準じ、給料表、期末手当及び勤勉手当等の改定並びに在宅勤務等手当の支給について新たに規定するほか、所要の改正を行うもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町税賦課徴収条例の一部改正について 地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、森林環境税の賦課徴収等に係る規定を整備するほか、所要の改正を行うもの。	賛成多数 で可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町町営住宅条例の一部改正について 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、所要の改正を行うもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町水道事業の設置等に関する条例の一部改正について 令和6年4月から下水道事業に地方公営企業法を適用すること及び地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴い、関係する条例の規定を整備するもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町手数料条例の一部改正について 戸籍法の一部を改正する法律の公布に伴い、本籍地以外での戸籍謄本等の交付事務及び戸籍電子証明書提供用識別符号の発行事務に係る手数料について新たに規定するほか、所要の改正を行うもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
予算														
令和5年度垂井町一般会計補正予算（第5号） 2億4,171万2千円を追加し、予算総額を114億8,440万3千円とするもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
令和5年度垂井町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 50万円を追加し、予算総額を27億7,245万5千円とするもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
令和5年度垂井町一般会計補正予算（第6号） 1億1,300万円を追加し、予算総額を115億9,740万3千円とするもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
その他														
指定管理者の指定について ワイワイプラザ垂井の管理を行わせる指定管理者について、指定するもの。	賛成多数 で可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○
議会議案														
垂井町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について 垂井町議会議員と町との間の地方自治法第92条の2に規定する請負の状況を公表することに関し、必要な事項を定めるもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議会改革特別委員会の設置の件 議会改革特別委員会を設置し、閉会中の継続調査とするもの。	全員賛成 で決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

1月7日、二十歳を祝う会が町文化会館で開催され、230人が参加しました。20歳を迎えたみなさんは、華やかな晴れ着や真新しいスーツに身を包み、旧友との再会を喜びました。

ワイワイプラザ垂井を視察



本会議閉会后、ワイワイプラザ垂井の現地視察を行いました。4月の供用開始に向けて行われている工事の進捗状況等について確認しました。

養老町議会との議員研修交流会を実施



1月18日、養老町議会との議員研修交流会が開催され、養老町テレワーク施設「YORO Office」を視察しました。その後、両町の議員同士で意見交換も行いました。

議会活動日誌

11月	
7日(火)	地方自治連絡協議会
22日(水)	全員協議会
28日(火)	議会運営委員会
29日(水)	第67回町村議会議長全国大会
12月	
1日(金)	県町村議会議長会 第3回評議員会
6日(水)	第6回定例会第1日
	全員協議会
	議会運営委員会
7日(木)	文教厚生委員会
8日(金)	総務産業建設委員会
13日(水)	第6回定例会第2日
14日(木)	全員協議会
15日(金)	第6回定例会第3日
	議会改革特別委員会
1月	
18日(木)	養老町議会・垂井町議会 議員研修交流会
26日(金)	不破郡町村議会議長会視察研修会
31日(水)	地方財政対策等説明会

編集後記

令和6年 能登半島地震により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今号より、議会だよりのレイアウトを一部変更しました。今後も議会・議員活動を広く知っていただけるよう、分かりやすい紙面づくりに一層努力していきます。

広報研究会一同

3月定例会の予定

3月5日(火) 議案の提案説明など
19日(火) 一般質問
22日(金) 議案の審議・議決

その他、予算審査等を予定しています。
日程が決まり次第、ホームページでお知らせします。



垂井町議会
ホームページ